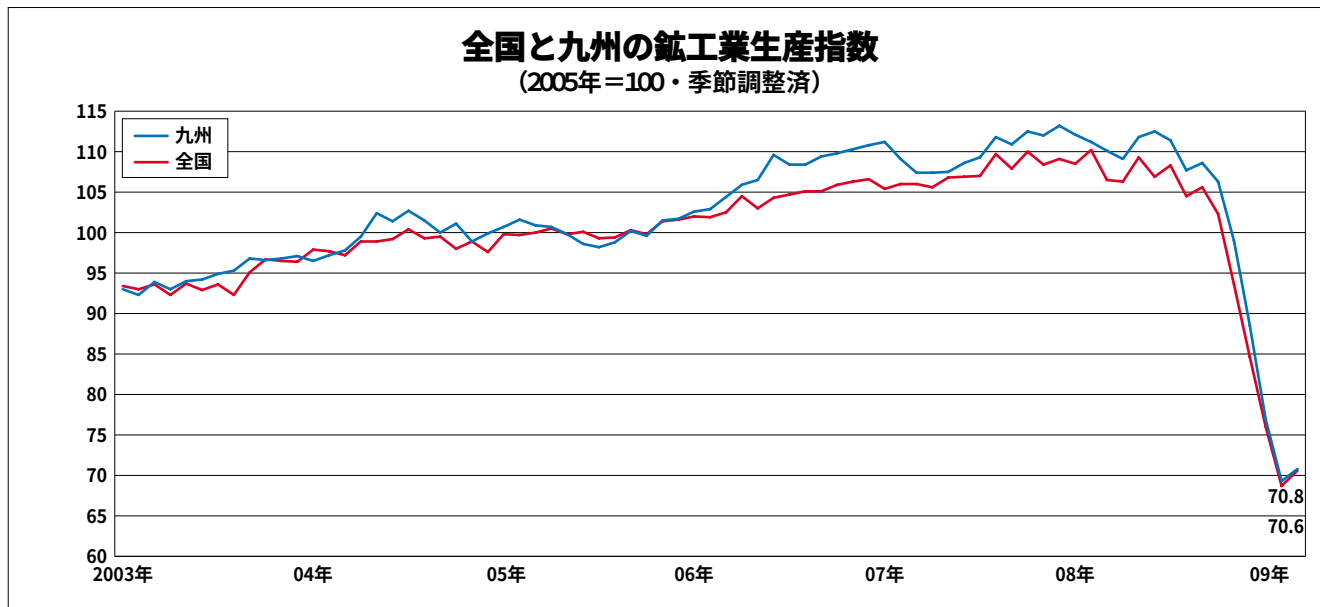


九州の最近の経済動向

[鉱工業動向]……………在庫調整進み、前月比上昇

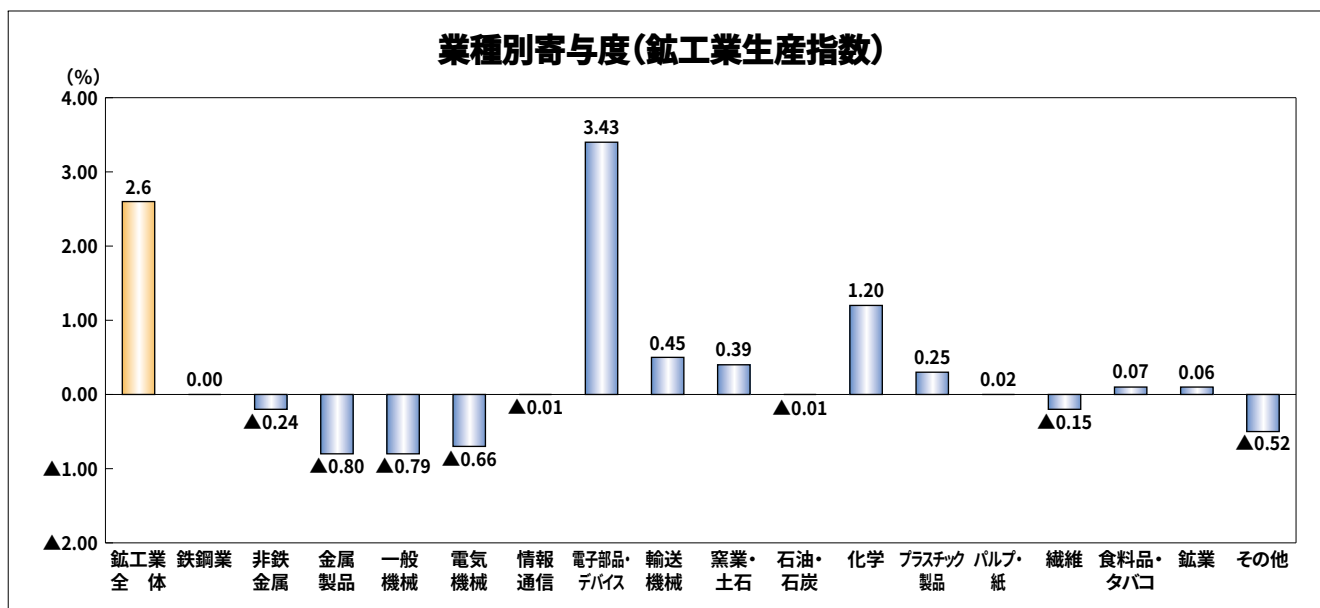
2009年3月の九州の鉱工業生産指数(季節調整済)は、大幅な減産が続くなか徐々に在庫調整が進みつつあり、前月比2.6%上昇して70.8となりました。



(出所)経済産業省、九州経済産業局

[業種別動向]……………電子部品・デバイス、化学、輸送機械などが上昇

鉱工業生産指数の2009年3月の動き(前月比)を業種別でみると、ゲーム機向けロジックデバイスやマイコンが増加した電子部品・デバイスや、化学、輸送機械などが上昇、金属製品、一般機械、電気機械などは低下しましたが、前月比で鉱工業全体は5ヵ月ぶりに上昇しました。



(出所)九州経済産業局

福岡県の最近の経済動向

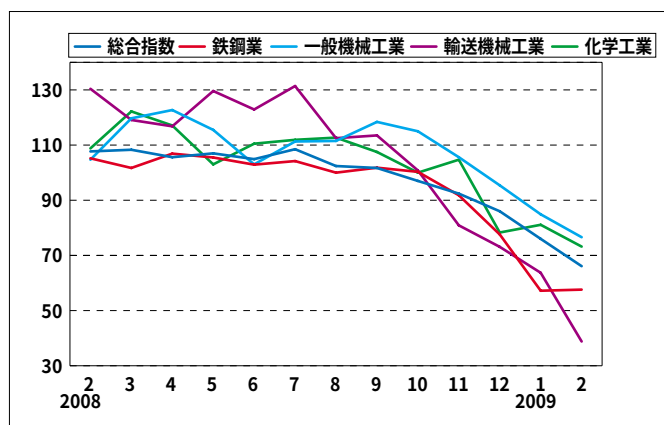
[福岡県の景気]……………厳しさ続く

企業部門は生産活動の悪化が継続しています。また、家計部門は雇用環境悪化の影響に伴う生活防衛意識の高まりなどで、大型小売店販売額は前年を下回っています。新設住宅建設は、分譲をはじめ持家、貸家ともに前年比減少し、公共投資も前年実績を下回っています。ただ、企業倒産については、中小企業の資金繰り支援の緊急保証制度の効果もあり、件数、負債総額ともに前年比を下回りましたが、福岡県の景気は厳しさが続いています。

先行きについては、基幹産業における在庫調整が進み、減産を緩和していることもあり、下げ止まりの兆しがあるといえます。

[生産活動]……………主要業種の多くで低下

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)

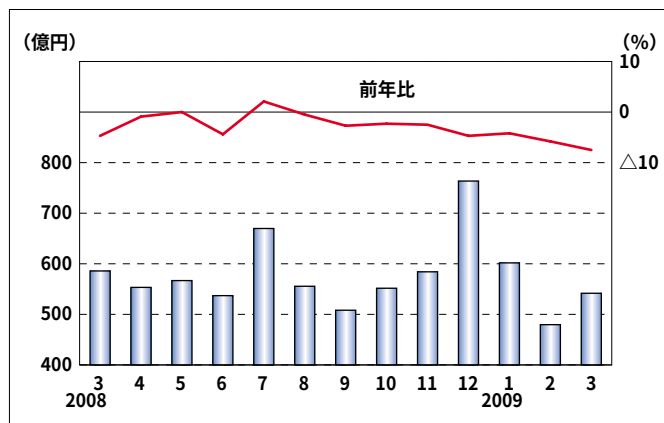


(出所)福岡県

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、基幹産業である自動車や半導体の減産が響き、生産指数は66.1と、前月比13.0%低下しました。主要業種では鉄鋼は微増したものの、一般機械、輸送機械、化学で前月比低下しました。特に輸送機械は、前月比39.1%も低下しました。

[大型小売店]……………生活防衛意識が一層高まる中、天候の影響もあり、百貨店スーパーともに前年割れ

福岡県の大型小売店販売額

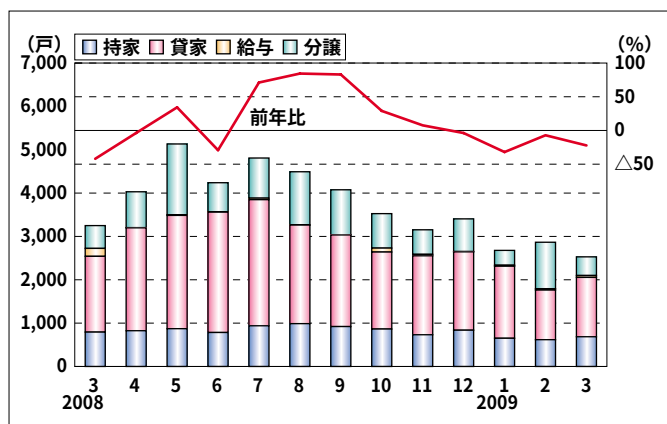


(出所)九州経済産業局

3月の県内大型小売店販売高は、前年に比べ土曜日が一日少なかったこと、天候の影響で春物衣料が不振だったこと、消費者の生活防衛意識が一層高まったことなどから、前年比7.5%減の542億円となりました。

[住宅建設]……………貸家の減少等で4カ月連続の前年割れ

福岡県の新設住宅着工戸数

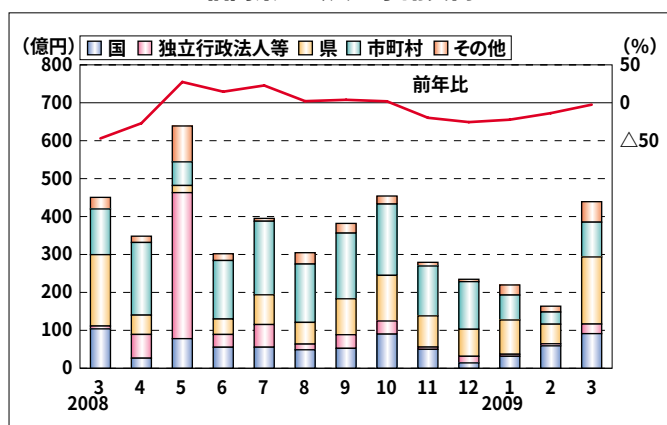


(出所)国土交通省

3月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比13.5%減の686戸、貸家で同21.7%減の1,369戸、給与で同76.0%減の44戸、分譲で同18.3%減の430戸とすべての指標で減少し、全体では同22.2%減の2,529戸と、4ヵ月連続で前年を下回りました。

[公共工事]……………請負金額は5カ月連続で前年を下回る

福岡県の公共工事請負高



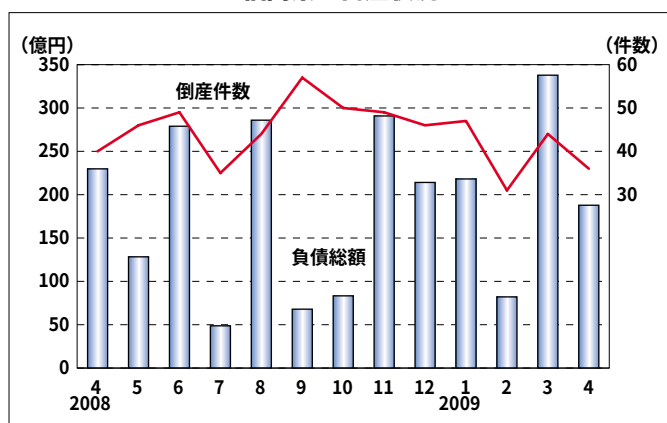
(出所)西日本建設業保証

3月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比25.0%増の885件、金額が同2.5%減の439億円と、緊急経済対策の一環による分離分割発注の影響を受け件数では増加したものの、請負金額は前年を下回りました。

発注者別の請負金額を見ると、「(独)水資源機構」などからの増加で「独立行政法人等」で同239.6%増となったものの、「国」で12.1%減、「県」で6.0%減、市町村」で23.9%減となりました。全発注者合計では5ヶ月連続で前年を下回りました。

[企業倒産]……………負債総額、倒産件数ともに減少

福岡県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

4月の福岡県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、中小企業の資金繰りを支援する緊急保証制度の活用が広がったこともあり、件数が前年比10.0%減の36件、負債総額は同18.3%減となる187億8,200万円となりました。

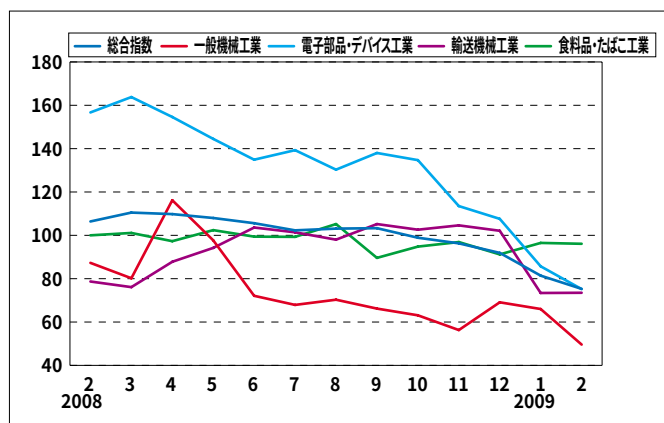
熊本県の最近の経済動向

[熊本県の景気] ……厳しさ続く

生産面では、一般機械で減少幅が拡大しているほか、内外需要の減退や在庫調整圧力の高まりを背景に、主力の半導体で生産水準を引き下げており、全体として減少幅が拡大しています。また、個人消費も所得環境の悪化などにより厳しい状態が続く、公共投資も前年を下回って推移していますが、住宅投資では増加の動きも出てきています。

[生産活動] ……一般機械など低下し、前月比7.5%減少

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)



(出所) 熊本県

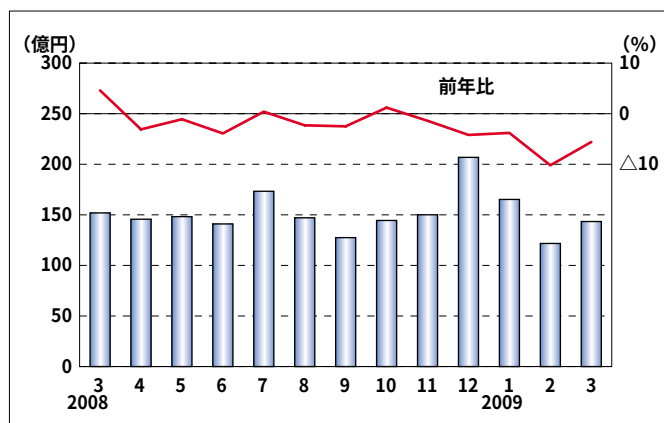
2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、生産指数は前月比7.5%減少し75.3となりました。

減産状況が続くなか、横ばい傾向を維持する食料品・たばこに加え、二輪車生産を主体とする輸送機械も前月並で推移しました。

しかし一般機械、電子部品・デバイスの減少率は、依然厳しい状態が続いています。

[大型小売店] ……消費者の節約志向反映し、前年比5.7%減少

熊本県の大型小売店販売額

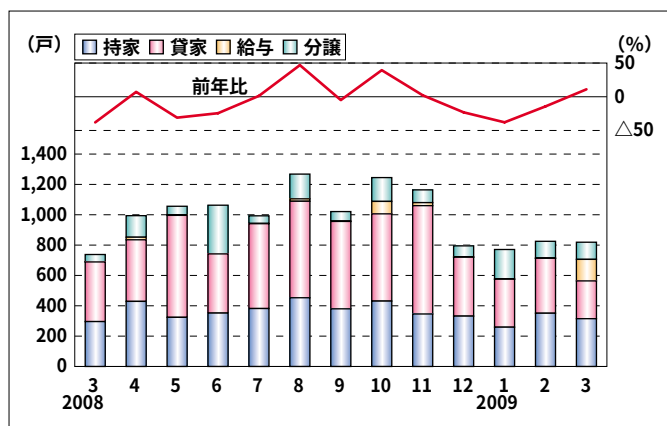


(出所) 九州経済産業局

3月の県内大型小売店販売高は、消費者の節約志向の高まりなどにより、前年比5.7%減の143億円と前年実績を下回りました。衣料品や身の回り品の落ち込みが続く中、食料品も弱い動きとなりました。

[住宅建設]……………分譲マンションや給与住宅などが増加し、前年を上回る

熊本県の新設住宅着工戸数

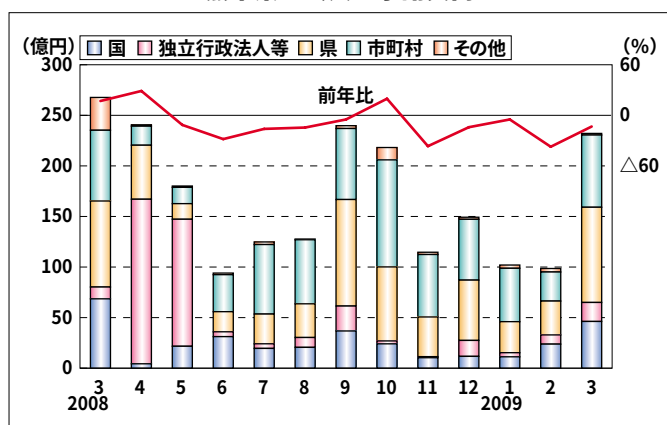


(出所)国土交通省

3月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比6.4%増の315戸、分譲はマンション増加により同1.3倍の113戸となったほか、熊本大学の留学生宿舍などにより給与住宅142戸と、大幅に増加しました。貸家で同36.6%減の249戸と押し下げたものの、全体では同11.0%増の819戸と、4カ月ぶりに前年を上回りました。

[公共工事]……………5カ月連続で前年下回る

熊本県の公共工事請負高



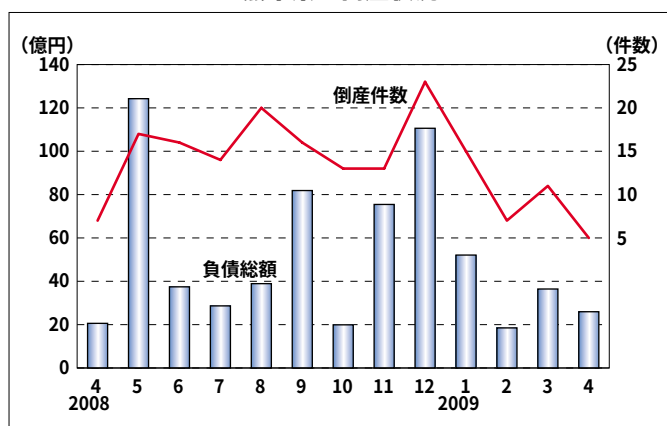
(出所)西日本建設業保証

3月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比7.8%減の475件、金額が同13.3%減の232億円と、件数、請負金額ともに前年を下回りました。

発注者別の請負金額をみると、「独立行政法人等」による九州新幹線関連工事で同60.9%増加したほか、「県」で同10.7%増、「市町村」で同2.1%増加しました。しかし、「国」で同32.6%減、前年工事(病院の大型増改築工事)の反動により「その他」で同95.1%減と、全発注者合計では5カ月連続で前年を下回りました。

[企業倒産]……………件数は前年比減少、負債額は増加

熊本県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

4月の熊本県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比28.6%減の6件、負債総額が同26.0%増の25億9,500万円となりました。倒産件数は前年を下回り、負債総額は前年比増加しましたが、件数、負債額ともに08年12月をピークに、沈静傾向で推移しています。

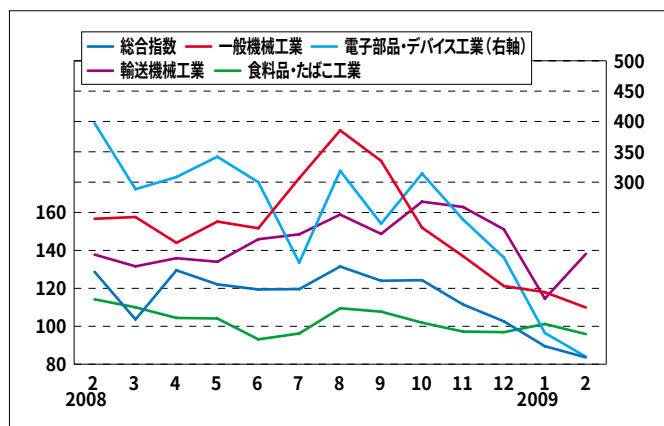
長崎県の最近の経済動向

[長崎県の景気]……………厳しさ続く

生産面では、輸送機械(造船)などで高操業が続いているものの、電子部品・デバイスでは生産が急速に低下しています。また、大型小売店販売額や住宅投資で前年割れが続くなど、個人消費も依然として低迷し、大型倒産も発生するなど、長崎県の景気は、厳しさが続いています。

[生産活動]……………電子部品・デバイスなどが低下し、前月比6.6%低下

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)

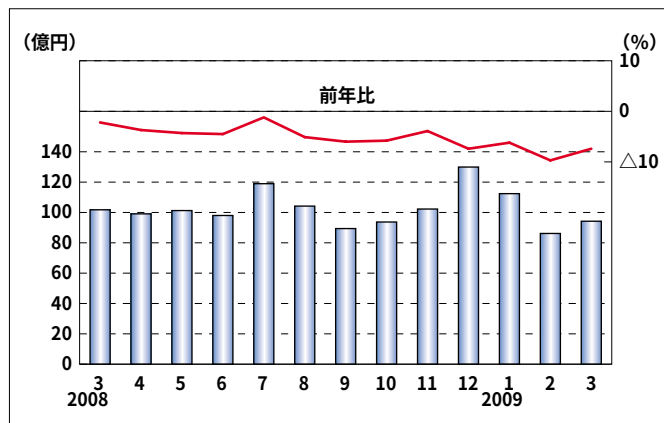


(出所)長崎県

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、生産指数は83.6と前月比6.6%低下しました。輸送機械は前月比で増加しましたが、電子部品・デバイスが急速に低下したのをはじめ、電気機械、一般機械、食料品・たばこも低下しました。

[大型小売店]……………消費者の節約志向強まり前年比7.4%減

長崎県の大型小売店販売額



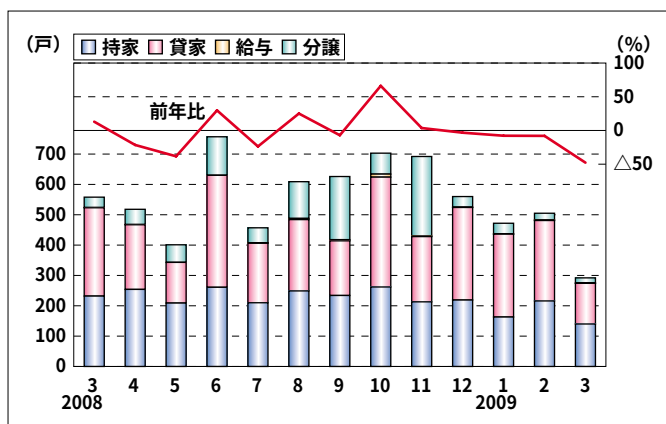
(出所)九州経済産業局

3月の県内大型小売店販売高は、消費者の節約志向が強まり、前年比7.4%減の94億円となりました。

業態別にみると、百貨店での販売高は同10.4%減、大型スーパーの販売高は、同5.9%減少しています。

[住宅建設]……………前年比47.7%減と大幅減少

長崎県の新設住宅着工戸数

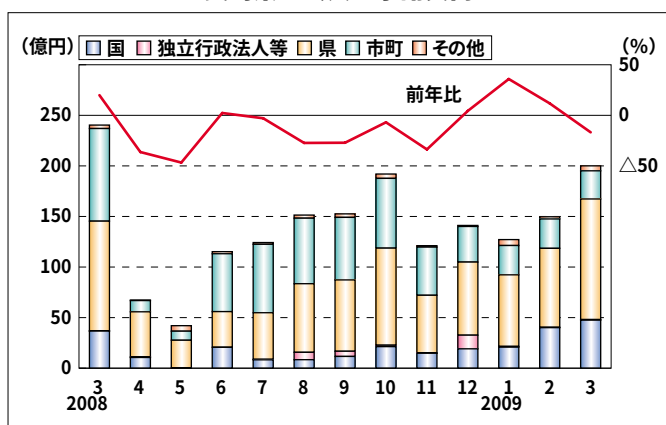


(出所)国土交通省

3月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比39.7%減の140戸、貸家で同54.0%減の265戸、分譲で同50.0%減の17戸となり、全体では同47.7%減の292戸と前年を大きく下回りました。減少率が大きい貸家では、発注者を個人とする着工が前年比3分の1以下に減っています。

[公共工事]……………4カ月ぶりに前年を下回る

長崎県の公共工事請負高



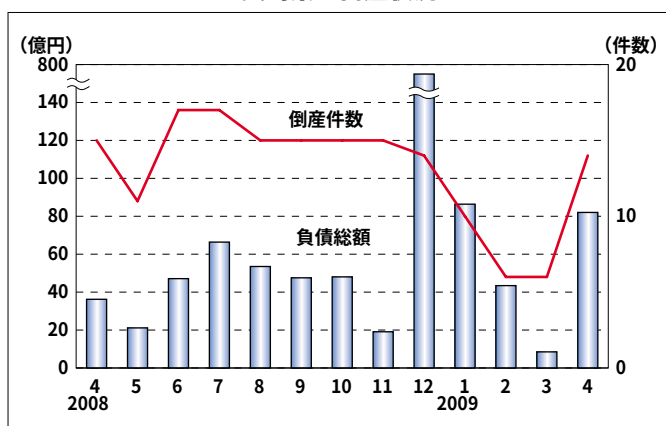
(出所)西日本建設業保証

3月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比23.6%増の325件、金額が同16.8%減の200億円と、件数は前年並みでしたが、請負金額は前年を下回りました。

発注者別の請負金額をみると、「国」で同29.4%増、「県」で同9.9%増となったものの、前年に大型リサイクル施設の着工があった「市町」で同69.6%減と大きく低下し、全発注者合計では4カ月ぶりに前年を下回りました。

[企業倒産]……………大型倒産発生により負債額は増加

長崎県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

4月の長崎県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比6.7%減の14件、負債総額が同2.3倍の82億200万円と、大型倒産が2件発生したことにより負債額は前年比大幅に増加しました。